

# 議会だより



カルガモ(寝屋川市写真協会提供)

## 誌面のご案内

定例会のあらまし	1・2
令和3年度一般会計補正予算 (第15号)の経過	3
代表質問	
ねやがわ未来議員団	4~6
公明党市会議員団	7・8
大阪維新の会議員団	9
日本共産党市会議員団	10
議決結果一覧	11

## 3月定例会を開催

- ・市政運営方針に対して  
会派代表4人が質問
- ・令和4年度寝屋川市一般会  
計予算を減額修正

# 令和4年3月定例会

寝屋川市議会は、2月24日から3月24日までの29日間にわたり、令和4年3月定例会を開催しました。

市長から27件の議案が提出され、令和3年度寝屋川市一般会計補正予算(第15号)及び令和4年度寝屋川市一般会計予算を除く25件を原案どおり可決・承認・同意しました。(※)議員が提案した意見書・決議7件については、それぞれ原案どおり可決・決議しました。

また、市長市政運営方針に対する代表質問を行い、会派を代表して4人の議員が質問しました。

## 令和4年度当初予算を修正可決 総額1,712億1,602万9,000円

令和4年度当初予算は、予算決算常任委員会分科会等を7日間開催し、詳細かつ慎重に審査を行いました。

一般会計予算については、予算決算常任委員会で修正案〔次の①～④を減額。①感染者等感染拡大防止協力支援金(1億5,247万4千円)、②児童・生徒等感染拡大防止協力支援金(8,014万6千円)、③①に係る人件費等(498万5千円)、④(仮称)こども専用図書館整備事業(4億1,036万6千円)〕が提出され可決されました。その後、本会議においても修正可決されました。

一般会計	992億2,202万9,000円
特別会計	.....
国民健康保険	262億3,700万円
介護保険	238億2,500万円
後期高齢者医療	39億8,400万円
公共用地先行取得事業	1億100万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	4,000万円
公営企業会計	.....
水道事業	58億9,800万円
下水道事業	119億900万円

※令和3年度寝屋川市一般会計補正予算(第15号)については、3月18日に原案否決が決定しました。(詳細は3ページを御覧ください)。令和4年度寝屋川市一般会計予算については、3月24日に修正可決しました。

## 議案の概要

### 認定こども園への移行を図るための寝屋川市立幼稚園条例及び寝屋川市立保育所条例の一部改正

子ども・子育て支援の推進の一環として、『寝屋川市の就学前教育・保育の推進(市立幼稚園・保育所再編実施計画)』に基づき、令和6年度における「寝屋川市立中央幼稚園及びコスモス保育所の認定こども園への移行」並びに「寝屋川市立南幼稚園及びあざみ保育所の認定こども園への移行」の実現を図るため、本条例の一部を改正するものです。

### 寝屋川市子育てリフレッシュ館条例の一部改正

多子世帯に対する支援の推進を図ることを目的として、「市内に住所を有する、多子世帯における第二子以降の子ども」に係る子どもの遊びスペースの使用料の見直しを行うため、本条例の一部を改正するものです。

### 寝屋川市国民健康保険条例の一部改正

『大阪府国民健康保険運営方針』(令和3年度から令和5年度まで)を踏まえ、保険料の特例「激変緩和措置」を定める等のため、本条例の一部を改正するものです。

### 一般会計補正予算 (第14号・15号・16号)

主な内容は次のとおりです。

○総合センター解体業務の減額補正(工事請負費等) [△8530万9000円]

○介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業の追加補正(補助金) [7096万6000円]

○小中一貫校施設整備に係る建設等工事の減額補正 [△8億8854万5000円]

○生活保護費(住宅扶助費・医療扶助費)の追加補正 [1億5494万円]

○感染者等感染拡大防止協力支援金の追加補正(補正金等) [5億6994万6000円]

○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業【繰越明許費補正】 [1億1382万6000円]

※第15号は、「感染者等感染拡大防止協力支援金」を減額する修正案が可決された後、2度の再議を経て、原案否決となりました。

ただし、生活保護費については、再議の結果、予算執行が可能となりました。(詳細は3ページを御覧ください。)

これにより、令和3年度一般会計補正予算は、5億1030万1000円が減額され歳入歳出予算の総額は、1085億6611万3000円となりました。

一般会計当初予算

令和4年度一般会計当初予算は、992億2202万9000円です。

主な内容は次のとおりです。

○市民サービスのターミナル化の推進  
〔1500万円〕

市民サービスの提供を公共交通機関の結節点である駅周辺に集約する、市民サービスの「ターミナル化」を推進するため、(仮称)駅前庁舎の開設に向けた改修工事の設計を行う。

○防災行政無線(同報系)サイレン放送の導入  
〔1766万7000円〕

市民が身を守る行動等をとることができるよう、防災行政無線による避難指示などの緊急情報等の伝達において、サイレン(警報音)を用いた放送を行い、電話応答サービスにおいて内容を伝達する。

○人として当たり前に生きる権利を  
考えるつどい  
〔2535万円〕

未就学児から高齢者まで幅広い世代の市民が気軽に参加し、男女、ハラスメント、人種等のあらゆる人権問題について正しい理解と認識を深め、身近に感じてもらおう機会を提供し、全ての人が安心して平和に暮らせる人権尊重のまちづくりを推進する。また、いじめ問題は子どもの人権に関わることとの認識の下、「いじめ対策サミット」と同時開催とすることで、より効果的な啓発を図る。

○斎場施設の改修

〔1億473万3000円〕  
斎場施設の維持及び安定的な火葬

業務を行うため、火葬炉などの改修及び収骨室の設置などを行い、市民サービスの向上を図る。

○ごみ減量コンテスト  
〔206万8000円〕

ごみ減量啓発用冊子の全戸配布に併せ、各家庭におけるごみ減量の取組を応募してもらい、優秀な取組については、クリーンカレンダーに掲載するとともに懸賞を呈呈することで、市民と協働したごみ減量の推進を図る。

○子どもの受動喫煙対策  
〔3561万7000円〕

学校・幼稚園・保育所等の敷地の外周の道路、通学路、公園など子どもが多く往来する場所での喫煙を制限するとともに、家庭内での受動喫煙に対する意識の高揚を図り、子どもの健康を受動喫煙から保護する。

○子宮頸がんワクチン接種  
〔1億3309万3000円〕

子宮頸がんの罹患を予防するため、子宮頸がんワクチン接種に係る積極的勧奨の再開に伴い、対象者に対して積極的な接種勧奨を行うことで、ワクチンの接種率向上を図るとともに、積極的勧奨を差し控えている間に接種機会を逃した女性に対し、キャッチアップ接種(無料接種)を行う。

○基幹相談支援センター等機能強化  
事業  
〔5093万9000円〕

地域の相談支援機能の充実、障害者の権利擁護を進めるとともに、地域移行・地域定着の促進を図るため、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び支援が行える専門職を配

置する。

○母子健康手帳アプリの導入  
〔224万2000円〕

母子健康手帳の記録を電子化するとともに、子育て情報の配信や子どもの成長記録の管理など、子育て世代の市民を継続的にサポートする機能を有する母子健康手帳アプリを導入することにより、ICTを活用した子育て支援の充実を図る。

○2軸化事業の推進  
〔1億3865万5000万円〕

JR学研都市線及び京阪本線の2軸の沿線が互いに成長し、寝屋川市全域が継続的に発展するためのまちづくりを進める「2軸化構想」の実現に向け、寝屋二丁目・寝屋川公園地区及び国松地区のまちづくり等を進める。

○(仮称)ねやがわパークの開催  
〔2200万円〕

打上川治水緑地において、季節に応じたパークイベントを開催することで、地域経済の活性化を図る。

○放置自転車等対策の推進  
〔1億8271万6000円〕

自転車駐車場の維持管理、自転車等放置禁止区域の啓発活動を行うなど、放置自転車等の防止を図るとともに、寝屋川公園駅自転車駐車場の移転を進める。

○小中一貫校の設置  
〔39億2580万7000円〕

第四中学校区への施設一体型小中一貫校の設置に向けた取組を推進する。



施設一体型小中一貫校のイメージ図

意見書等

3月定例会で可決した決議・意見書等は、次のとおりです。

◆ロシアのウクライナに対する侵略を非難する決議

◆介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書

◆地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

◆市町村の合併の特例等に関する法律の改正を求める意見書

◆文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度見直しを求める意見書

◆保育教育現場の性犯罪をゼロにするため早期に「日本版DBS」創設を求める意見書

◆中華人民共和国に対し人権の尊重と人権侵害問題に関する説明責任を果たすよう働きかけることを求める意見書

令和3年度  
一般会計補正予算（第15号）の経過

「感染者等感染拡大防止協力支援金（約5億7,000万円）」を含む補正予算を否決

令和4年3月定例会の本会議3日目（3月2日）に、感染者等感染拡大防止協力支援金（5億6994万6000円）を減額する旨を修正可決した「令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第15号）」について、再議（※1）に付されたため、本会議6日目（3月11日）に審議することになりました。

再議による審議の結果、修正可決の賛成者が3分の2に満たず否決となりました。その結果、先に可決された修正予算は白紙となり、原案を審議することになりました。原案に対する審議の結果、原案は否決されました。

その後、本補正予算に義務費（生活保護費（1億5494万円））が含まれ

ることから、再度、再議（※2）が付され、本会議7日目（3月18日）に審議することになりました。

再議による審議の結果、3月11日の議決（原案否決）のとおり決定され、これにより、原案は否決となりました。

**令和3年度一般会計補正予算（第15号）の主な概要**

- 生活保護費（住宅扶助費・医療扶助費）の追加補正  
〔1億5494万円〕
- 感染者等感染拡大防止協力支援金  
〔5億6994万6000円〕
- 児童・生徒等感染拡大防止協力支援金  
〔1144万2000円〕
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（繰越明許費補正）  
〔1億1382万6000円〕

なお、原案は否決となりましたが、義務費に係る経費については、再議（※2）を付したことにより、市長は予

算執行が可能となりました。

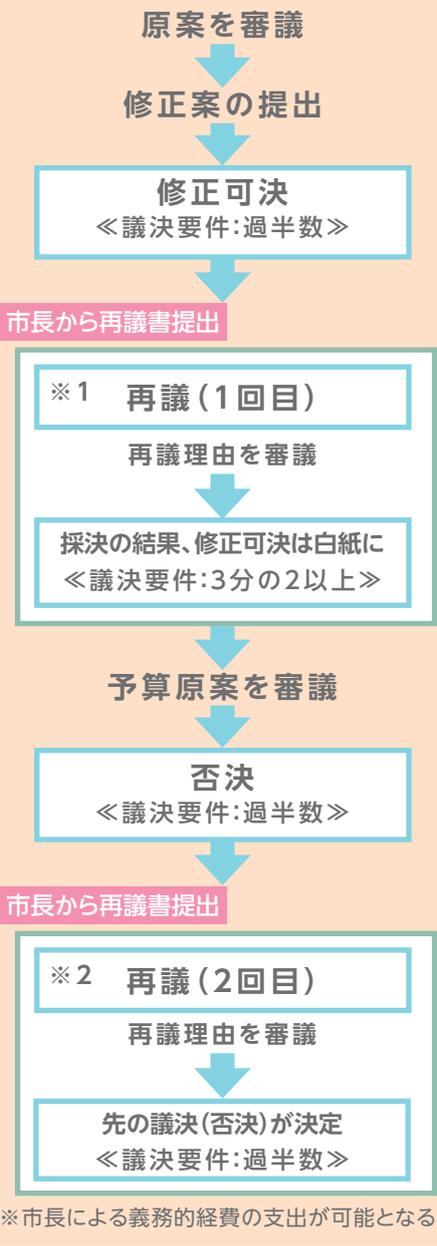
また、「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（繰越明許費補正）」については、本会議8日目（3月24日）に、令和3年度一般会計補正予算（第16号）が上程され、可決されました。

※再議とは

〔※1〕（任意的再議（1回目））  
市長が予算等の議決に異議がある場合に任意で行う再議のことです。補正予算案の再議に付された議決は、過半数ではなく、議長も含めた出席議員の3分の2以上が、先の議決結果に賛成した場合に確定します。3分の2に満たない場合は、次に、予算原案の審議を行うこととなります。

〔※2〕（義務的再議（2回目））  
生活保護費など、義務費に係る予算を削減又は減額した場合、市長に義務付けられている再議のことです。補正予算案の再議に付された議決は、過半数が先の議決に賛成した場合に確定します。

令和3年度  
一般会計補正予算（第15号）の  
審議経過



# 市長市政運営方針に対する 代表質問のあらまし

ねやがわ未来議員団

## 真に市民のための政策提言！ 公共施設集約と 都市基盤整備構築

北川	光昭
井川	晃一
金子	英生
北川	健治
西尾	勝成
馬場	才
板東	敬治
久野	須賀子
山崎	菊雄
吉羽	美華

### 市政運営方針

**問** この3年間で人口の年齢構成のリバランスの変容とこれまでの取組状況について見解は。

**答** 本市の20代・30代の転入者は増加傾向にあり、子育て世代誘引の兆しが表れている。寝屋川水準の施策の推進や積極的な情報発信等が、一つの要因と考えている。

**問** 令和2、3年度の総残業時間を比較、超勤は一般会計を含む6会計決算資料で約3・3億円。令和3年度12月議会補正予算では、約3・5億円であり、総残業時間は減らず、庁内の実態も追いついていないが見解は。

**答** 働き方改革は全国的な社会課題で、本市でも喫緊の課題であり、早期に抜本的な対応が求められている状況であった。そのため、「働き方改革推進プラン」を策定し、望ましい残業をなくすという目標達成に向けて取り組んでおり、新型コロナウイルスに関する業務量の増大に対しては、事務

の応援等、全庁的に対応している。

### 新型コロナウイルス感染症対策

**問** 家族に陽性者が出た場合の対応、濃厚接触者とされた場合の対応、子どもたちへの対応等の掲載、事業者や低所得者への補助金等の説明・手続きをホームページやSNSだけでなく情報弱者に配慮した紙媒体の情報発信が大切であるが見解は。

**答** 感染対策の呼び掛けには、あらゆる媒体を活用し、わかりやすい情報発信を行う。また、情報弱者に配慮した広報誌の特集記事等を活用する。

**問** 5歳以上11歳以下の小児接種が始まっている。接種の目的、ワクチンの効果や副反応、後遺症等に関する正確な情報を伝える十分な理解が得られる情報発信と同時に同調圧力も懸念事項であるが、見解は。

**答** 小児接種について厚生労働省は努力義務の適用外とした。正確な情報発信は極めて重要である。接種への同調圧力への対応については、ワクチン接種は任意であること、差別

や偏見、いじめが起これないよう、十分な配慮と周知に努める。

**問** 感染拡大の中、保健所業務の負担軽減に資する対策や、感染爆発期での保健所機能の優先順位は。

**答** 負担軽減に資する対策は、大阪府の取扱いに準じた積極的疫学調査のファーストタッチの重点化等、優先順位は、入院調整や重症化リスクのある方への健康観察を優先する。

### コロナ対処方針

**問** 市のコロナ対処方針は市民にわかり易い明確さと近隣他市との統一性が肝要。今後も独自の対処方針を継続するのか、国・府基準に準じていくのか基本的な考え方は。

**答** 学校園における対処方針については、児童・生徒、その家族の命と健康を守ることを第一に、感染状況や学習機会の確保、家庭の負担軽減などを総合的に検討し対応する。

ここからは令和4年度の事業、主に新規事業及び拡充事業について第六次総合計画に沿って質問する。

### 産後ケア事業

**問** 新年度拡充された産後ケア事業、事業内容における不十分な課題とその改善を図る拡充事業は。妊婦健康診査を17回に拡充するが、理想とする妊婦健康診査回数。

**答** 産婦が委託施設を訪問する必要があることや対象期間が産後4か月

までであることが課題。解決のため、助産師が産後1年までの産婦の居宅を訪問する。また、妊婦健康診査については、14回を超えて受診された方から費用助成拡充のお声をいただいたこと、またアンケートで最大17回の受診があったことを把握したため17回までに拡充した。



夫婦の絆

### 母子健康手帳アプリ

**問** 対象者は子育て世代の市民と聞く。その対象範囲と基本情報の入力是谁が行うのか。またアプリの導入で得たデータを関連する部局で活用すべきと考えるが見解は。

**答** 対象範囲は子育て世代で利用者が入力し母子健康手帳と併用する。個人情報取扱いに留意し、子どもに関する助成や手続きなど、子育てに関する情報を関連部局に集約。利用者の利便性向上につなげていく。

### 寝屋川教育・小中一貫校建設

**問** 令和5年度中の開校に向けて、

一部建築資材の遅れがあり、工期遅延、備品調達遅延、完成時期の遅れで開校遅延も懸念されるが進捗管理はどのように行っているのか。

**答** 市、施工監理事業者、施工業者の3者で2週間に1回、工程会議を定期的に開催し、工事工程の進捗管理を行っている。

**問** 総コストについて1年前の答弁で総額84億7千万円。既存校舎解体工事費や工事監理費、学校設備備品等の算出結果について問う。

**答** 建設工事は入札により約81億3千万円と見込む。備品購入経費総額約6億2千3百万円、既存校舎解体工事費概算で約5億7千万円を予算として見込んでいる。

**問** 残る11中学校区における小中一貫校の方向性、施設整備の議論は。

**答** 児童・生徒数の動向やまちづくりの状況、「寝屋川市学校園施設の長寿命化計画」、第四中学校区施設一体型小中一貫校設置後の状況などを見据え、議論・検討していく。

### いじめ対策サミット

**問** いじめ対策サミット開催事業は新規施策であり、教育関係者、全国の自治体の長、いじめ被害者等が一堂に集まって意見交流といじめ防止解決、ネットワークを構築する事業であるが、参加呼びかけ方法、開催の持続性、本市が全国に向けて発信する意義、いじめ被害者等の人権の保護について問題は無いのか。

**答** いじめの解決に向けた先進的な

事例や様々な知見を共有し、本市が取り組むいじめ対策の更なる充実を図るもの。本市は全国的に注目をいただいていることから開催意義は大きいものと考ええる。いじめ被害者等の人権保護につき、実施に当たり事業の目的等を説明、理解をいただいた上で被害者の立場や状況等を十分に配慮し進める。

### 都市基盤整備の構築

**問** 寝屋川二丁目・寝屋川公園地区土地区画整理事業で、新たに大阪病院とねや川サナトリウムが加わる。その背景と土地の利用形態が当初から変更されるのか、伺う。

**答** 大阪病院跡地について、土地活用の相談があり、また、ねや川サナトリウムは建物の老朽化等により移転を考えられていた。両病院は、寝屋川公園の未整備エリアに換地を受けて土地活用が可能となり、跡地を寝屋川公園として一体的に活用することが可能となるというメリットがあると考えている。

**問** 寝屋川公園駅周辺のまちづくりで西側広場の整備以外で計画はあるか。また、この地域での潜在的待機児童対策の現状と対策については。

**答** ハード整備については重要と考える必要に応じて検討する。潜在的待機児童は、当該地域の保育所入所希望者は、増加傾向。隣接地域の保育所等での入所調整を行っている。

**問** 京阪本線連続立体交差事業、高架工事の完成時期の見通しが工事着

工後、10年から15年と説明された。市民も議会も令和10年度の完成という認識であり、今後7年と理解していた工事期間が倍増する可能性もある。市民生活に大きなマイナスイメージもあるが、そのリカバリーをする強い意志があるのか。

**答** 工期延長による市民生活への影響をリカバリーするため、府及び京阪電鉄に対し、1日も早い高架化完成を強く求めていく。



京阪本線連続立体交差事業完成後のイメージ図

**問** 寝屋川市駅周辺地区で都市再生整備事業の計画が策定中であり、基本計画案を基にした総事業費の概算は。

**答** 駅前広場のリニューアル、アドバンスねやがわ1、2号館を結ぶペDESTリアンデッキを整備計画案として整理している段階であり、総事業費も精査しているところである。

**問** 対馬江大利線が令和6年度に完成、供用開始のスケジュールを市民に示している。広報に年限を書いた

**答** 点を踏まえ、責任ある答弁を。令和6年度の一日でも早い完成を目指し、用地買収や橋梁工事など、積極的に取り組む。

**問** 萱島讚良線の早期事業化に向けた会派要望に対する回答は、過去5年同じである。そこで、府との本年度の協議実績についての答えは、従前より都市計画道路に設定されている重みへの考えは。

**答** 萱島地区の防災性向上に寄与することから事業化の際は支援するとの回答を得ている。駅につながる都市計画道路は、良好な市街地を形成する上で優先度が高いと考える。

**公共施設集約と複合化  
(駅前庁舎)**

**問** 新たな整備方針には市民を最優先に考えるとの記載があったが、来庁者と職員の二者に対してどのような庁舎でありたいか。

**答** 来庁者にとり、手続きが速やかで利便性が高く、満足いただける庁舎に、また職員にとり、デジタルトランスフォーメーションを最大限に活用し効率的な事務処理ができる設備が整った庁舎を目指す。

**問** 基本コンセプトに「市民を動かさない」を掲げている。具体的に複数の手続を1窓口でどう対応するか。

**答** 一人の職員が複数の事務に対応することを目標として、他部局への異動を伴わない職員の配置と当面は三者同時コミュニケーションツールの活用で対応する。

**コロナ禍での商工業者対策**

**問** コロナ禍で社会経済活動に与えた影響は大きい。多くの中小零細企業や個人事業主が苦しんでいる。地域経済状況調査が行われたが、新たな商工業者対策が見受けられない。調査を踏まえた市内事業者の経営実態の評価は。

**答** 新型コロナウイルス感染症以前の状態には未だ回復せず、顧客の帰、確保に対する課題が重視されていることを確認している。

**災害時対策 (地区防災計画)**

**問** 議会から指摘しているが防災対策に関する改善スピードが鈍い。地区防災計画の作成率と完了時期の目標は。

**答** 地域から当該計画の素案提出を受けておらず作成している地域は無い。各地域の実情を踏まえ、計画作成に向け地域と調整していく。

**治水  
(高宮ポンプ場・古川雨水幹線)**

**問** 高宮ポンプ場の整備、現在の進捗から判断し供用開始時期は。

**答** 資材の調達状況から、現在のところ令和4年12月を予定している。

**問** 古川雨水幹線完成時期は、令和7年度で不変か。また「接続第2工事」の施工見通しは。

**答** 令和7年度の早期完成を目指す。接続第2工事については「古川雨水幹線整備事業」の完成時に効果が最大限発揮できるよう進める。

**犯罪認知件数減少に向けた  
施策立案**

**問** 市内の犯罪認知件数減少の現状と目標値は。

**答** 令和3年の犯罪認知件数は1354件、5年間で半減しており、令和9年に900件の目標値を設定している。

**健康寿命の延伸 後期高齢者医療**

**問** 健康寿命の延伸や医療費適正化に向けた様々な取組を行っているが、新たな取組や既存施策の拡充は。

**答** 若年層へのアプローチが課題と認識し若年層に対する周知・啓発や、地域・職域との連携を強化する。

**問** 後期高齢者医療で変更点がある。一定以上の所得者は窓口負担が1割から2割となり影響が大きい。国庫負担金の割合を引き上げる国への要望について、市の考えは。

**介護・福祉の担い手**

**問** 介護事業所において従業者の確保が大きな課題である。本市の考え方と具体的な取組について伺う。

**答** 介護従事者確保については、全国的な課題であるため、国に対し、人材確保の対策強化を要望するとともに、引き続き府などと連携して介護人材確保に係る取組を行う。

◆ 全員協議会を開催 ◆

令和4年2月8日(火)に全員協議会を開催し、以下の内容について説明を受けました。

**協議内容**

- (仮称) こども専用図書館
- (仮称) 寝屋川市駅前庁舎整備方針

※全員協議会とは・・・市政に関する主要事業等について共通の認識を持つため、議員全員が集まって開かれる会議です。



**公明党市会議員団**

**目的を見誤らず、**

**「確かな施策」の実現で**

**市民生活の充実を！**

村上 順一	池添 義春	岡 由美	高見 雄介	辻谷 恵一	野々下 重夫
-------	-------	------	-------	-------	--------

**集団接種予約の課題について**

**問** 集団接種の予約が繋がらないことが市民の負担である。見解を問う。  
**答** システムの活用や人員の確保により、不便をおかけすることなく対応できる体制を整備していく。

**働き方改革について**

**問** AI・RPAの業務適用において、働き方改革への見解を問う。  
**答** AI・RPAは、典型的かつ大量の処理を行う事務に適用することから、高い効果が見込まれることから、より効率的で生産性の高い働き方の実現につながるものと考える。

**納付環境の整備について**

**問** スマホ決済等、市民の利便性を考えるならば電子マネーを豊富にラインナップすべきと考えるが見解は。  
**答** 令和5年度から納付書に統一QRコードを付し、多くのスマホ決済が可能となる予定である。導入後、利用状況を踏まえ、国民健康保険料等について検討していく。

**マイナンバーカードの普及について**

**問** 商業施設等での出張サービスでの申請補助について見解を問う。  
**答** 出張受付の拡充を図るとともに、シテイ・ステーションでの申請補助の実施について周知啓発していく。

**寝屋川版マイナポイントについて**

**問** 国施策としてマイナポイント還元事業が進められる中、本市として独自のポイント付与を行う考えはあるのか、見解を問う。  
**答** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市独自ポイントの付与について今後検討していく。

**2軸化事業について**

**問** 「寝屋川二丁目・寝屋川公園地区」として本格的に進められる。まち全体のイメージについて見解を問う。  
**答** 第二京阪道路沿道は、産業・流通系等の企業立地を促し、星田駅周辺は、駅に近接する中高層住宅や、寝屋川公園のロケーションを活かし

た戸建住宅を整備するなど、子育て世代に選ばれる魅力と活力あるまちの創出を図っていく。

**空き家の流通活性化について**

**問** 空き家の流通活性化の促進として、空き家のリノベーションリフォーム工事費用補助を、これまでの対象者から市外在住の若者世代にも拡充されるが、これにより空き家状況はどう解消されるか見解を問う。  
**答** 本事業を活用した空き家の解消については、新年度にリノベーションリフォーム工事費を10件計上しているが、他の施策と併せ空き家解消に努めていく。

**感染症を原因とする弔慰金について**

**問** 新型コロナウイルス感染症が原因で亡くなった方の葬儀費用については通常の費用に加え、感染症対策として別途数十万円の消毒料金が発生することや、専用の火葬場に空きが無く、火葬までの遺体御安置の費用等、負担が大変との市民の声がある。他市では「弔慰金」を支給するところもあるが、本市にあっても同弔慰金の支給を要望する。  
**答** 新型コロナウイルス感染症弔慰金については、今後、先進市の事例を調査・研究していく。

**「コロナ補助金等支援について**

**問** 国や府、市の各給付金事業の対象とならない世帯があり、その支援が必要と考え、見解を問う。  
**答** 今後、新型コロナウイルス感染症

の状況や国の動向等を注視していく。

**「コロナフレイルについて**

**問** 市としての考えや対策、検討事項を問う。

**答** 高齢者の活動や人との交流が重要であり、元氣アップ体操の動画配信や、通いの場では感染対策の徹底を指導するなど、コロナ禍でもフレイル予防の取組を行っている。

**親子コンサートについて**

**問** 小さなお子さん連れでコンサートに参加する機会がほとんどないのが現状である。要望し、見解を問う。  
**答** 子育て世代がリフレッシュできる機会にもつながることから、ニーズの把握に努め、開催に向けた検討を進めていく。



寝屋川ミュージックデーの様子

**100歳祝い金事業について**

**問** 9月15日を基準日とすることで、10月に誕生日の方はそこから約

**問** 一年待つ必要がある制度になっている。不公平であり見解を問う。  
**答** 今後、基準日のあり方等について検討していく。

### ヤングケアラーについて

**問** 孤立するヤングケアラーへの支援についての課題と取組を問う。

**答** 実態の把握が難しいことが第一の課題と考えており、教育委員会と連携し、効果的な実態調査の方法について検討していく。

### 産後ケア従事者の報酬について

**問** 母子を支える産後ケア事業であるが、他市と比較し、従事者への報酬が低く設定されている。見直しを要望し、見解を問う。

**答** 産後ケア従事者への報酬については、近隣市の設定額を参考にしながら、今後検討していく。

### 妊婦健康診査について

**問** 妊婦健診が拡充され、推進してきた会派として高く評価する。期待される事業効果を問う。

**答** 14回を超える受診を行った方から費用助成拡充へのお声をいただいたことなど、実態を把握したため拡充した。14回を超える健診が必要になる方も必要な費用助成を受け、安全に安心して妊娠・出産に臨むことができるものと考えている。

### 通学路の交通安全について

**問** 保護者や地域の見守り隊の方々から通学路における危険箇所の声が多

く届けられる。市内通学路で把握している危険箇所数と今後の対策、整備方法を問う。

**答** 市内75箇所確認している。対策については、路側帯、横断歩道、交差点へのカラー舗装や路面標示、看板設置、警察による巡回や取り締まり等を含め、寝屋川警察や関係部署との連携を密に進めていく。

### クラス全員スクリーニングについて

**問** 学級全員スクリーニング検査は周辺他市との対応が異なるため検証が必要である。見解を問う。

**答** 陽性者が出たクラスの全員スクリーニング検査では、約60%の確率で複数の陽性者が確認されていることから、感染のリスク回避と家庭の安心感につながったと認識する。一方、長期化したことなどにより、学習機会の確保のこと、各家庭の負担軽減のことなどの影響が考えられる。

### 学校園感染発生公表について

**問** 風評被害が生じることなく小学校等名の公表の仕方やクラススクリーニング検査について見解を問う。

**答** 公表することで誤った情報が流れ混乱を生じさせないこと、各家庭に注意喚起を促し、市内の感染状況を共有することが感染対策に有効であると考える。また、クラススクリーニング検査は、クラス内に陽性者が確認された場合、希望制によるスクリーニング検査を実施していく。

## 公共施設の在り方調査特別委員会を開催

～(仮称)寝屋川市駅前庁舎整備方針への本特別委員会提言書の反映内容を確認～

(仮称)駅前庁舎に関する整備基本コンセプトや庁舎全体のイメージ等を記載した「(仮称)寝屋川市駅前庁舎整備方針」について、令和4年2月15日(火)に本特別委員会で会議を開催しました。

本特別委員会では、令和3年11月に(仮称)駅前庁舎に関する考え方や意見を提言書として取りまとめ市当局に提出。

当日は、整備方針に反映した内容などの説明を受け、その後、質疑を行いました。



特別委員会の様子



(仮称)駅前庁舎の外観

大阪維新の会議員団

基礎自治体はどう在るべきか

本質を捉えた政策提言

中川 健  
奥 大輔  
中谷 剣将  
福田 篤志

まちづくりの基本方針について

**問** これまで積み上げてきた実績と成果とは何か。

**答** 中央図書館機能を低コストで再構築し、多くの市民に利用いただいていることや、寝屋川教育の推進を図る中で、学力の定着、新型コロナウイルス対応における自宅療養者等への配食サービスの実施など、寝屋川水準の施策の推進と積極的な情報発信により、市民プライドの醸成につながっている。

**問** 本市独自のコロナ対応にこだわらぬあまり、他市より対応が遅い・厳しすぎる等の声を聞いている。また行政のミスも随所に見られた。感染症対応についての評価は。今後も市独自にこだわるのか。

**答** 環境の変化等から全ての事業が想定した効果を発揮するものではない側面を有しており、不断に検証する必要がある。「寝屋川水準」の施策を進めた結果として独自の施策として評価が得られたと考える。

**問** これまでの学校園でのコロナ対応で全員検査、陰性であっても2週間の自宅待機は人権問題にも発展しかねない由々しき事態である。今後

の学校園における基本の方針を伺う。

**答** ワクチン接種の普及による感染状況、学習機会の確保、家庭への感染拡大状況などを総合的に検討する中で適切に対処する。



中核市として重要な役割を果たす保健所

まちの未来を切り拓く魅力の創出について

**問** これまでの広瀬市政を見ると公施設は増加し、職員数についても超過勤務削減の名の下に人を増やす計画を立ててきた。市長の考えるダウンサイジングとは何か。

**答** 市民サービスの「ターミナル化」

推進計画を始め、公共施設等総合管理計画・個別計画による施設の総量抑制、DX推進計画によるAI、RPAの活用など、あらゆる視点から経費の圧縮、選択と集中を図ることで持続可能な行財政運営の確立を目指す経営手法の一つである。

**問** 担税力のある若い子育て世代を誘引するに当たり先を見据えたビジョンを伺う。

**答** 将来にわたる持続可能なまちを実現するためには、子育て世代誘引による人口のリバランスが不可欠であり、寝屋川水準の施策を推進し、社会に新たな価値を提供し続けることで、本市の都市ブランドを高めていく必要がある。中長期の視点で子育て世代を誘引する施策を積極的かつ着実に推進する。

子ども子育てに最善を尽くすについて

**問** 現在、学校園において過度な感染症対策によって子どもたちの学校生活、青春が奪われているのは事実であるが、見解は。

**答** 各学校と教育委員会が協力し、コロナ禍でも学びを止めないという考えのもと、オンライン授業の充実、行事や部活動の工夫など、子どもたちへの影響を最小限にするよう努めた。今後も、子どもたちの感染拡大の防止と学習機会の確保に努める。

**問** スクリーニング検査によって子どもの時間や笑顔が平然と奪われている現状において市長の信念である

「子どもたちに最善を尽くす」とはどういった意味か改めて伺う。

**答** 教育環境でいうと、子どもたちが安全で安心して学校園に通える教育環境を整えること。感染症対策のみならず、市独自のいじめ対策なども共通の考えである。

**問** ここ数年の行政の誤り、今年は感染者等感染拡大防止協力支援金の金額変更の先走ったHPへの公開と予算の見通しの甘さ、3回目ワクチン接種券の誤送、ギフト事業の誤送や遅延、議案の取消しなどこれらの誤りは一事が万事であり組織の崩壊が危惧される。現在の組織体制についての評価と諸問題の原因を伺う。

**答** 新たな行政課題や市民のニーズに応じて、最も効果的かつ効率的な体制が整備できているものと考えている。指摘の諸問題については、一層組織マネジメントを的確に発揮し、リスクマネジメントの強化に取り組む。

高齢者の存在について

**問** 今回の市政運営方針においては寝屋川市を築き上げた先人に対して尊敬の念を感じることができない。シルバー世代と言つ言葉が唯一出てくるが市長にとって高齢者とはどのような存在か。

**答** 本市が培ってきた歴史、伝統、地域のきずなは先人を始めシルバー世代の皆様が築き上げた礎であると認識している。地域の様々な活動に御尽力いただいていることに、心から敬意を払い、感謝している。

日本共産党市会議員団

コロナから命をまもる市政を

太田 徹  
中林 和江

**問** 大阪府にコロナ収束まで病床削減の凍結を求めること。

**答** コロナ禍における各病院の診療実態及び今後の方向性をもとに地域での医療体制の在り方を議論するものと認識している。

**問** 府内保健所に保健師等専門職員を大幅に増やすことを求める。

**答** 大阪府において計画的に実施されるものと認識している。

**問** 9月末まで申請できる家計急変世帯の10万円給付の周知を。

**答** 市役所窓口や各シテイステーションに配架、自治会回覧等で周知する。

**問** 市立認定こども園発足については職員体制等の条件整備を求める。

**答** 人員の適正配置、老朽化対策として大規模修繕の実施など対応する。

**問** 雨漏り・トイレ改修等学校現場から改修要望に対する予定について。

**答** 迅速な改修に向けて対応する。

**問** 親亡き後事業については関係団体との懇談会等を開催すべきである。

**答** 学識経験者、当事者、関係団体



等様々な立場の方と検討を行う。

**問** 現行3地区を11地区に拡大予定の乗合い事業の来年度以降について。

**答** 残る8地域で地元説明を行い導入意向を確認する。

**問** (仮称)駅前庁舎の駐車場確保は、約160m徒歩2分で90台以上は利用可能と想定。

**答** SNSが利用できない市民への情報提供の在り方について。

**答** 日常生活の中で情報に触れていただけのよう工夫を凝らしている。

**問** 地球温暖化・CO2排出量実質ゼロの来年度の取組について。

**答** 積極的な情報発信で市民・事業者・行政が一体となって進める。

**問** カジノ誘致で反対が多い。危惧されるキャンセル依存症・家庭崩壊・犯罪増について、市の見解は。

**答** 大阪府・大阪市の依存症予防等に資する取組の推進で一定の対策が図られると考える。

**問** 学童指導員の処遇改善について今後の考え方は。

**答** 引き続き検討する。

**問** 教職員の長時間労働解消のため府の定数内講師率の引下げを。

**答** 適正な配置を府に求めるとともに教育長協議会等で要望する。

28日 総務都市創造常任委員会(※) 予算決算常任委員会/議会運営委員会

25日 文教生活常任委員会(※) 文教生活常任委員会(※) 総務都市創造常任委員会(※) 予算決算常任委員会/議会運営委員会

24日 議会運営委員会/本会議(第1日)/議会広報委員会

18日 議会運営委員会

15日 公共施設の在り方調査特別委員会

声の議会だより・点字版議会だより 発行しています

目の不自由な方のために、紙面の内容を録音した「声の議会だより」「点字版議会だより」を発行し、御希望の方に無料で郵送しています。御家族やお知り合いの方などにお知らせください。お電話で申込みができます。



議会事務局 ☎072-824-0010(直通番号)

議 会 日 誌

【2月】  
8日 全員協議会/幹事長会  
15日 公共施設の在り方調査特別委員会

18日 議会運営委員会  
24日 議会運営委員会/本会議(第1日)/議会広報委員会

25日 予算決算常任委員会健康福祉分科会  
28日 文教生活常任委員会(※) 総務都市創造常任委員会(※) 予算決算常任委員会/議会運営委員会

【3月】  
1日 本会議(第2日)  
2日 議会運営委員会/本会議(第3日)/予算決算常任委員会健康福祉分科会/予算決算常任委員会文教生活分科会/予算決算常任委員会

7日 本会議(第4日)  
8日 本会議(第5日)/議会運営委員会  
9・10日 健康福祉常任委員会(※) 本会議(第6日)/議会運営委員会

14・15日 文教生活常任委員会(※) 議会運営委員会  
16日 議会運営委員会  
16・17日 総務都市創造常任委員会(※)

(※)各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催  
18日 本会議(第7日)  
23日 予算決算常任委員会

24日 議会運営委員会/本会議(第8日)

【4月】  
6日 幹事長会  
8日 議会広報委員会



# 3月定例会 議決結果一覧



議案番号	件名	議決結果
報告第2号	専決処分の報告（令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第13号））	承認
報告第3号	専決処分の報告（有功者の選定）	承認
議案第2号	寝屋川市手数料条例の一部改正	可決
議案第3号	令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第14号）	可決
議案第4号	令和3年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第5号	令和3年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第6号	工事請負契約の締結	可決
議案第7号	公平委員会委員の選任	同意
議案第8号	寝屋川市個人情報保護条例の一部改正	可決
議案第10号	寝屋川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決
議案第11号	認定こども園への移行を図るための寝屋川市立幼稚園条例及び寝屋川市立保育所条例の一部改正	可決
議案第12号	寝屋川市立子育てリフレッシュ館条例の一部改正	可決
議案第13号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可決
議案第14号	寝屋川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決
議案第15号	令和4年度寝屋川市一般会計予算	修正可決※
議案第16号	令和4年度寝屋川市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第17号	令和4年度寝屋川市介護保険特別会計予算	可決
議案第18号	令和4年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第19号	令和4年度寝屋川市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決
議案第20号	令和4年度寝屋川市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算	可決
議案第21号	令和4年度寝屋川市水道事業会計予算	可決
議案第22号	令和4年度寝屋川市下水道事業会計予算	可決
議案第23号	包括外部監査契約の締結	可決
議案第24号	市道の廃止	可決
議案第25号	市道の認定	可決
議案第26号	令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第15号）	否決
議案第27号	令和3年度寝屋川市一般会計補正予算（第16号）	可決
議員提案第1号	ロシアのウクライナに対する侵略を非難する決議	決議
議員提案第2号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書	可決
議員提案第3号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	可決
議員提案第4号	市町村の合併の特例等に関する法律の改正を求める意見書	可決
議員提案第5号	文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度見直しを求める意見書	可決
議員提案第6号	保育教育現場の性犯罪をゼロにするため早期に「日本版DBS」創設を求める意見書	可決
議員提案第7号	中華人民共和国に対し人権の尊重と人権侵害問題に関する説明責任を果たすよう働きかけることを求める意見書	可決

※議案第15号令和4年度寝屋川市一般会計予算については、3月24日に修正可決されました。

◎議案内容・議決結果は、市議会ホームページで御覧いただけます。

## 市議会開催のお知らせ

次の市議会の開催は、5月臨時会（5月16日・18日）を予定しています。この臨時会では、主に令和4年度の議会の役員改選が行われます。

臨時会の会期中は、新たな役員の協議が整い次第、随時、会議を開くことになります。

また、6月定例会の日程は、「広報ねやがわ6月号」と市議会ホームページでお知らせします。

## 本会議を録画配信しています！



スマホ版サイト

市議会が開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信（左のQRコード）」から視聴できます。議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。